

# 平成27年度 受講修了生の声

在宅がん看護の研修を通して「在宅」「がん看護」という2つの視点から学びをたくさん得た。これからはスタートであることを忘れず、今回、得た知識を活用していくことが今後の課題です。

多職種と連携し、様々なサービスの調整をしながら在宅支援を行っていきたい。

現場で在宅移行支援に関わる様々な困難に直面したとき、率先して関わっていきたい。

在宅がん看護の存在意義とがん医療全体を理解し、病院でも安心したケア継続ができ、患者や家族のQOLを支える切れ目のない看護を目指すため、これからも学んでいきたい。

今回、研修でお世話になったたくさんの方々に今後も積極的にコンタクトを取りネットワークを広げて、自施設の発展につなげていきたい。

自宅への訪問に同行して、医師や看護師、薬剤師の言葉がけひとつで和んでいく患者や家族の表情を目の当たりにし、在宅療養の魅力を強く感じた。そして、今後、機会があれば訪問看護の道にも進んでみたいと思った。